

## 第2回日本てんかん学会東北地方会プログラム

日時： 2008年7月5日(土) 午後1時～

場所： 江陽グランドホテル4階 銀河の間

(宮城県仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL: 022-267-5111)

会長： 東北大学大学院医学研究科神経外科学分野 教授 富永悌二

開会 13:00

シンポジウム： てんかん診療の啓発をどう進めるか (13:00～14:00)

座長 富永悌二 萩野谷和裕

- 1) 脳神経外科一般医への啓発をどう進めるか 中里信和(広南病院脳神経外科)
- 2) 精神科一般医への啓発をどう進めるか 管るみ子(板倉病院精神科)
- 3) 小児科一般医への啓発をどう進めるか 萩野谷和裕(拓桃医療療育センター小児科)
- 4) 神経内科一般医への啓発をどう進めるか 池田昭夫(京都大学神経内科)

一般演題Ⅰ (14:00～14:45)

座長 宇留野勝久

- 1) Gabapentin, Topiramate の使用経験  
独立行政法人国立病院機構山形病院てんかんセンター  
宇留野勝久 守川新人
- 2) 内田クレベリン検査でミオクロニー発作が賦活されたてんかん症例  
てんかん専門病院ベーター  
戸村幸恵 金澤清香 高橋まゆみ 曾我孝志
- 3) 終板硬化に伴う内側側頭葉てんかんの外科治療例  
広南病院脳神経外科 同神経内科 仙台医療センター臨床検査科  
岩崎真樹 中里信和 大沼歩 鈴木博義 藤原悟 富永悌二

一般演題Ⅱ (14:45～15:30)

座長 植松貢

- 4) 診断未決定な Rasmussen 症候群類似例  
岩手医科大学小児科  
赤坂真奈美 亀井淳 千田勝一
- 5) PB 大量と臭化カリウムが無効でケトン食療法が有効だった Pachygyria の1例  
秋田大学医学部小児科  
矢野珠巨 沢石由記夫 渡部泰弘 稲見育大 高橋郁子 高橋勉
- 6) 先天性第Ⅴ因子欠損症による脳実質内と硬膜下の多発出血後、寛解した West 症候群の1女児例  
東北大学小児科  
植松貢 福與なおみ 萩野谷和裕 土屋滋

会員総会 (15:30～15:45)

閉会 15:45

連絡先：

〒982-8523 宮城県仙台市太白区長町南4丁目20-1

財団法人広南会広南病院

第2回日本てんかん学会東北地方会事務局(岩崎真樹)

電話 022-248-2131 FAX 022-248-1966